

第 4 回 熊本市自転車利用推進協議会 議事録

I. 日時：令和 7 年（2025 年）3 月 26 日（水） 午前 10 時～

II. 場所：桜の馬場 城彩苑 多目的交流施設

III. 配布資料

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 配席図
- ・ 資料 1-1 自転車活用推進計画の中間見直しについて（骨子案）
- ・ 資料 1-2 自転車ネットワーク計画の中間見直しについて（骨子案）
- ・ 資料 2 サイクル&ライドの推進について
- ・ 資料 3 ヘルメットの購入補助

IV. 議事要旨

1. 開会	
事務局挨拶	
2. 委員紹介	
3. 議題	
(1) 自転車活用推進計画の中間見直しについて（骨子案）	
事務局	資料 1-1 に基づいて説明
(1) について質疑応答	
会長	議題（1）について、何かご意見ご質問等はあるか。
委員	シェアサイクルに年齢制限はあるのか。
事務局	年齢制限はない。しかし、スマートフォンやクレジットカードの所持が必要になるため、それによって変わってくる。
委員	先程の説明で通勤通学での利用と出てきたが、小学生もスマートフォンを所持する環境になってきているため、今後小学生も利用されるようになるかもしれないが、そういった話は出ているか。
事務局	近年シェアサイクルが利用拡大して、中学生でも利用しているというお声は聴いている。今後スマートフォンも普及していく中で、小学生の利用もあると考えている。
委員	P10 の 1-2 「通勤時間帯の自転車交通量の変化」で生活様式が変わ

事務局	<p>ったという話があったと思うが、運動や健康の面で見ると自転車に乗る人が増えた方がいい、イコール台数が増えた方がいいという数字の変化が見ることができるが、自動車での移動をなるべく自転車に転換させたいというのであれば、自動車がどれだけ減ったかの数字も出さないと正確な数字が出ないと思うので、そういった数字があるといいと思った。</p> <p>R5 年のパーソントリップ調査で H24 年より外出率が減少しているという結果も出ている。委員ご指摘のとおり、自転車の交通量だけでなく、自動車の交通量も加味するなど、今後反映の仕方を工夫していきたい。</p>
会長	<p>委員仰るとおり自動車の分担率がどれだけ減ったかというのはすごく大事な視点である。ただパーソントリップ調査も 5 年、10 年でされるものであるため、なかなかやりにくい部分もあると思うので、その工夫については事務局の宿題というところでお願いしたい。</p>
委員	<p>シェアサイクルについて、ある程度エリアが広がってきていると思うが、高校生のヘルメット着用が義務化になりヘルメットを着用しなければチャリチャリを使えないということを生徒指導連盟を通じ、親に理解してもらわなければならないと考えている。それで今高校生はほとんど乗っていないと思うが、やはり自分の自転車に乗って、我々が自転車の安全点検の仕方や乗り方を教えていくといった教育も大事になっていくと考えている。</p>
事務局	<p>仰るとおりであると考えている。シェアサイクルについては整備士がいるところではあるが、自分の自転車となるとなかなかやらないといったことがある。我々も学校で話をすることがあるが、自転車の点検についても教えていきたい。</p>
会長	<p>先程から、シェアサイクルと生徒の関係等で議論が進んでいるところではあるが、小学生の登録状況等が分かれば、今後共有していただくことでさらに議論しやすくなっていくと思う。</p>
会長	<p>資料 1 - 1 に別紙がついていると思うが、事務局から補則で説明して</p>

事務局	もらえるか。
会長	(資料 1-1 別紙に基づいて説明) この説明も踏まえて追加で質問はあるか。
委員	P11 の数値目標「自転車を利用する機会が増えたと感じる市民の割合」でいわゆる意識的なところではまだまだ伸びが足りないと感じているが、今後も HP や SNS などでも周知していくとあるが、今後の広報的な戦略が具体的にあれば教えていただきたい。
事務局	委員の仰るとおり、まだまだ意識的にまだ低いと感じている。インスタグラムでも広報しているが、投稿に期間が空き、稼働していないこともあるため、来年度からはサイクリングや、自転車関連の店舗の紹介、自転車教室の実施の情報発信など積極的にしていきたい。
委員	サイクリング・レジャーとあったが、本校の生徒から上熊本駅付近でシェアサイクルを使って何ができるかを考えたときに、今までなかなか活用されていないサイクリングロードを使って観光地を巡るなど、外国の方をターゲットに SNS を使って周知することが非常にいいのではないかという意見が出ていた。今後はそういう観光地へエリアを広げるとともに観光ルートを開発するということもありではないだろうか。現状、上熊本駅からシェアサイクルを使ってどこに行くかとなったときに、西側には広がっていないため、結局中心部に戻るしかないといったことになる。ぜひご検討いただきたい。
事務局	仰るとおり、観光名所とエリアがマッチしていないという現状もある。エリアについては、事業者の方で採算性を含めて検証しながら拡大を決定しているが、観光的な面にも着目しながら事業者と対話していきたい。例えば、江津湖を活かしたサイクリングルートの開発等も検討していきたいと考えている。今後ルートの選定等については、本協議会の場でも提示させていただきご審議いただければと考えている。
会長	一点、現状チャリチャリについて、外国人にどれくらい使われているか、教えていただけるか。
事務局	熊本での外国人の登録者数は約 1600 人いる。具体的には台湾、韓国、中国、アメリカなどが多い。また、アプリ登録の対象国については 70

会長	か国となっている。
事務局	外国人に対しての安全に関する周知や交通ルール等の啓発は行っているか。
委員	外国語版のパンフレットを作成し、公共施設や観光施設に設置をしている。
事務局	TSMC 関連で外国人が増えるということはもちろん誰もが知っていることであるが、対策はこれからするのか。今までは何もやっていないということか。また、TSMC ということで他自治体との連携も図っているのか。
事務局	熊本連携中枢都市圏という枠組があり、自転車施策もこの中に取り入れ、各自治体に呼び掛けを行っている。賛同いただいたところには外国人に向けたチラシの配布等を一緒に進めていきたいと考えている。
(2) 自転車ネットワーク計画の中間見直しについて (骨子案)	
事務局	資料 1-2 について説明
(2) についての質疑応答	
会長	議題 (2) について、ご意見ご質問はあるか。
委員	前回の優先整備路線の選定方法としてアンケートを取られてたと思うが、当時はどのような手段で、どの方を対象に、どのくらいの数に対して行ったのか。
事務局	どういった方法であったかはお答えできる資料が手もとにない。当時、優先整備路線を決めるにあたっては机上の話になっていたという経緯があり、その中の一つにアンケート調査の結果がある。中間年を迎えるにあたっては、実態を確認したうえで、優先整備路線の選定をもう一度設定したいというのがポイントである。先ほど、委員からご質問にあったように、当時アンケートをどのように取ったのかは非常に大事な話である。 過去の資料を調べて次回協議会の場でその結果をご報告させていただきたい。
会長	本日は骨子案ということで、いただいたご意見を踏まえて、さらに事務局の方でブラッシュアップしていただき、次の素案に反映させてい

委員全員 会長	<p>ただきたいと思っているが、本日、このような骨子案で進めさせていたいただいてもよいか。</p> <p>異議なし</p> <p>それでは、このような形で事務局には進めていただきたい。</p>
<p>4. 報告</p> <p>(1) サイクル&ライドの推進について</p> <p>(2) ヘルメットの購入補助について</p>	
事務局	資料2、資料3について説明
(1) (2) についての質疑応答	
会長	報告(1)(2)について、ご意見ご質問等はあるか。
委員	ヘルメット購入補助が無ければ高校生の義務化ができないと考えている。高校の現状を伝えると、補助金があるおかげで、保護者の理解のもと新2、3年生もヘルメット着用義務化にすることができた。新1年生については、入学後に自転車通学の申請を出すことになるが、条件として安全保証がついたヘルメットを被ることとしている。しかし、おそらくまだ購入していない等でヘルメットを被らずに自転車に乗る学生が出てくると想定している。そういった生徒に対して今後対策をするにあたっての後ろ盾をしていただければと思う。ヘルメットも安全のための一つであるが、自転車の整備について、なかなか遠くて、点検に行けないという現状もあるかと思うので、小中高への出張点検や整備もあると非常にありがたい。
事務局	<p>ぜひ我々も積極的に協力させていただきたい。</p> <p>整備点検については、委員へご質問する形になるが、TSマークがないと登録できないといった条件はあるか。</p>
委員	<p>TSマークが登録条件となっている。</p> <p>これから青切符制度も始まっていくため、車体が壊れてそのままにするのではなく、これからも安全に乗れるように日ごろから大切に乗り、整備するということを心がけてもらいたい。一年に1回点検はするが、できれば、夏休みなど整備できる機会があれば良いと思う。また、市立高校に加え、私立高校でも申し合わせ事項にヘルメット着用義務化まではいかなかったものの、ヘルメット着用を推奨するといった文言を追記した。また、一時停止や通行区分違反等も追記している。</p>

<p>会長</p>	<p>今後は熊本市内の市立・私立高校についてはそのような研修を行っていきたい。</p> <p>やはりヘルメット着用義務化によって我々では想定できない問題も出てくるかと思うのでぜひ情報共有いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>二点ある。一点目は、高校生にヘルメット購入補助が出ることは知っていたが、高校生以下まで対象が広がるというのは初めて知った。熊本市は子供が多い世帯も多いのでとても助かると思う。情報は市政だよりで公開されるのか？</p> <p>二点目は、一般的なヘルメットの約半額ほどの補助として 2000 円としているとあったが、給食費と同じように、経済的に困窮している世帯には無償で提供するといったことはあるか？</p>
<p>事務局</p>	<p>周知方法については熊本市HPで公開しており、今後、市政だよりも掲載する予定である。ほかにも、幼稚園や保育園等にもチラシ・ポスターを配布したいと考えている。</p> <p>補助に対しては、一律 2000 円の補助で困窮者には無償といったことは考えていない。</p>
<p>委員</p>	<p>配信方法であるが、子育て世代は熊本市の公式ラインの子育てという分野をよく見ているという声をきくため、そのカテゴリーで発信すると広く見てもらえると思う。</p>
<p>会長</p>	<p>本日も多岐にわたるご意見、ご指摘をいただき感謝する。事務局においては本日の内容を反映させていただきたい。</p>
<p>5. 閉会</p>	